

文部科学省委託事業「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」

第7回 学術知共創プロジェクトワークショップ

～将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方～

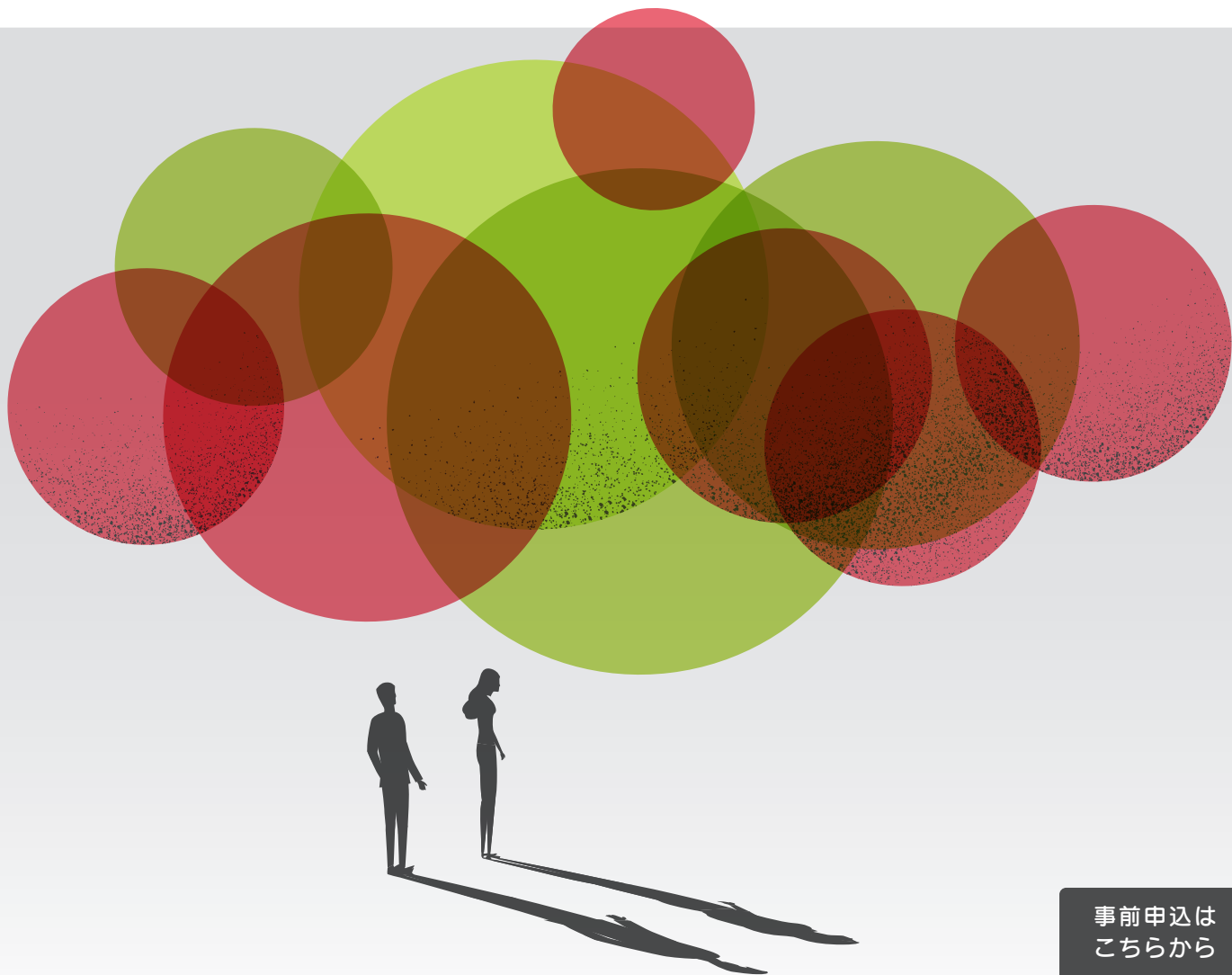
テーマ代表者：大竹文雄 大阪大学大学院経済学研究科教授



人文学・社会科学を軸とした
学術知共創プロジェクト



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



政策と専門知 — 市民・現場・対応 —

2022.03.07 Mon. 15:00-17:00

政策担当者は実務・政策の課題を常に抱えています。そこに専門家はどのように関わっていくことが望まれるのでしょうか。政策担当者の求めは、「今」「おおその方向性」である一方で、専門家とりわけアカデミアの研究者は「時間をかけて」「厳密で正確な見解」を发出しています。これら社会と学問の乖離は大きな課題といえます。これらの解決には、社会と学問の架け橋となる人材開発や、非常時においてアカデミアの研究者が政策担当者と深く連携できる環境を整備することが重要です。今回は、「政策と専門知」の在り方について、前回のコロナ対策を再考する(WS04)を引き継ぐ形でアカデミアの研究者視点および政府からの情報を受け取る市民視点の話題を提供していただき、多様な専門家からの視点とともに深く考察していきたいと考えています。

●オンライン開催 ●参加費：無料 ●定員：参加(甲)：9名／参加(乙)：最大15名程度

※参加方法の詳細はホームページをご覧ください

事前申込は
こちらから

▶ 公募期間 ◀

2022年2月18日
～3月2日

参加者用



or

クリック



視聴者用



or

クリック



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

■主催 | 社会ソリューションイニシアティブ(SSI) ak-pj@ml.office.osaka-u.ac.jp

将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方 政策と専門知 —市民・現場・対応—

政策と専門知をテーマに、アカデミアの研究者が非常時の政策課題に携わる革新的研究を積極的に創出するきっかけになるような活発な議論が展開されることを期待しています。



■テーマ代表者：大竹文雄 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授

1961年京都府生まれ。専門は行動経済学・労働経済学。大阪大学博士（経済学）。大阪大学助手、大阪府立大学講師、大阪大学社会経済研究所教授、同大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。政府の新型インフルエンザ等対策推進会議委員を2020年からの前身となる会議の構成員から務める。著書に『競争と公平感』『競争社会の歩き方』『経済学は役に立ちますか？』『行動経済学の使い方』など多数。

プログラム

15:00	WS案内 小出直史 大阪大学SSI 特任准教授	15:20	話題提供&全体討議 モデレーター：大竹文雄 話題提供①：仲田泰祐 東京大学大学院経済学研究科 准教授 「政策決定に活かされる「知」とは？」 話題提供②：磯野真穂 独立研究者 「リスクの実感とその醸造のプロセス—医療人類学の観点から」
15:05	開会挨拶 堂目卓生 大阪大学SSI長／プロジェクトマネージャー	16:55	閉会挨拶 大竹文雄
15:15	イントロダクション 大竹文雄 大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授		

話題提供&全体討議 | 話題提供者



仲田 泰祐 Taisuke Nakata
東京大学大学院経済学研究科 准教授

米連邦準備理事会（FRB）の主任エコノミストを務めた金融政策とマクロ経済のプロフェッショナル。2020年に日本に活動拠点を移した後、新型コロナウイルスの感染と経済影響に関する試算で注目を集める。1980年生まれ、2003年シカゴ大学経済学部卒業。カンザスシティ連銀調査部からキャリアを始め、12年にニューヨーク大博士（経済学）。「社会に役立つ分析」を掲げる実践派経済学者の代表選手。

●参考：<https://sites.google.com/site/taisukenakata/>
<https://covid19outputjapan.github.io/JP/>
<https://twitter.com/NakataTaisuke>



磯野 真穂 Maho Isono
独立研究者

人類学者。専門は文化人類学・医療人類学。博士（文学）。早稲田大学文化構想学部助教、国際医療福祉大学大学院准教授を経て2020年より独立。摂食障害、抗血栓療法、糖質制限、漢方医療といったテーマを中心に、リスクに対する身体感覚の醸造、情報と身体の関わりに着目したフィールドワークを続けてきた。著書に『なぜふつうに食べられないのか——拒食と過食の文化人類学』（春秋社）、『医療者が語る答えなき世界——「いのちの守り人」の人類学』（ちくま新書）、『ダイエット幻想——やせること、愛されること』（ちくまプリマー新書）、宮野真生子との共著に『急に具合が悪くなる』（晶文社）、『他者と生きる—リスク・病い・死をめぐる人類学』（集英社新書）などがある。

●オフィシャルサイト：<https://www.mahoisono.com>

